


## 施工上の注意

ふりまき素材	
90頁	SW4226・4227 ・2巾を施工しジョイント部で色差が気になる場合、リバース施工で色差が緩和されることがあります。
	SW4228・4229 ・素材が厚く固いため、カッターの刃は常に鋭利な状態で使用してください。
	SW4230/4231 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。 ・低温時の施工直後は、ベースと柄部分の伸縮の違いでベース部分にふくれが生じる場合がありますが、完全に乾燥すれば元に戻ります。
91頁	SW4232・4233/4234/4235 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
	SW4236~4238 ・素材の特性上折りジワが付くと元には戻りません。糊付け後は折りジワが付かないように大きなたたみ、重ね置きはしないでください。 ・定規が滑りやすいため、ずれないように押さえに注意してください。
92頁	SW4239~4241 ・素材の特性上、塗布角度に方向性があり、光線の影響で色差が生じることがあります。 ・オープンタイムは10分が目安です。長時間おくと相剝ぎや目スキの原因となります。 ・2巾を施工しジョイント部で色差が気になる場合、リバース施工で色差が緩和されることがあります。
93頁	SW4252~4255/4256・4257/4258・4259 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
94頁	SW4266~4268/4269~4271 ・2巾を施工しジョイント部で色差が気になる場合、リバース施工で色差が緩和されることがあります。
95頁	SW4274・4275 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
	SW4276・4277 ・撫で付け・ジョイント部は柔らかい刷毛、または指で押さえてください。 ・素材の特性上、折りジワやへこみの跡が付くと元には戻りません。
	SW4278~4282 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
96頁	SW4289~4292/4293~4295 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
97頁	SW4300~4302 ・折りグセが付かないように両手で持つようにして、4つ折りは絶対にしないでください。施工時に折りグセ部分の塗膜が剥がれることがあります。
98頁	SW4303~4306 ・折りグセが付かないように両手で持つようにして、4つ折りは絶対にしないでください。施工時に折りグセ部分の塗膜が剥がれることがあります。
	SW4313~4317 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。

織物		
標準施工	<p>■素材の特性上ジョイント部に色差や目曲がりが生じることにより柄が合わないことがあります。水が直接かかる場所への使用は避けてください。表面に汚れが付着すると、取り除けない場合があります。</p> <p>糊付け ・糊は濃いめに、塗布量は多めに相剝ぎを防いでください。 ・表面に糊が付着しないようご注意ください。 ・糊付け後は折りジワが付かないように大きなたたみ、重ね置きはしないでください。 ・オープンタイムは10分が目安です。長時間おくと相剝ぎや目スキの原因となります。</p> <p>張付け ・撫で付けは柔らかい刷毛を使用してください。金ペラや硬いローラーは使用しないでください。 ・出隅の撫で付けや入隅の押し込みは丁寧に行ってください。 ・鋭い薄刃のカッターを使用してください。 ・カッターの刃は15~20°の角度を保ってカットすると、繊維が毛羽立たず比較的きれいに仕上がります。 ・重ね切りする際は、長定規を使用してください。面でしっかり押さえることで壁紙の伸び・タルミが発生しにくくなり、乾燥した後の目スキ防止になります。 ・石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。 ・施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。</p> <p>施工終了後・表面に糊が付着した場合はすぐにきれいな布で軽く拭き取ってください。</p>	 <p>▲ 施工動画 基本施工方法は はこちらから</p>

# 施工上の注意

価格表

品番対照表

施工のポイント/メンテナンス

施工上の注意/商品説明

機能説明

不燃認定・防火/品質と安全性

## 織物

標準施工のみ

101頁: SW4321~4324	102頁: SW4325/4326・4327
103頁: SW4328・4329/4330/4331~4334	104頁: SW4335/4336/4337・4338
105頁: SW4341・4342	106頁: SW4351~4353/4357~4362
107頁: SW4363・4364/4365/4366・4367/4368/4369・4370/4371	
108頁: SW4376・4377/4378/4379・4380	109頁: SW4386・4387
110頁: SW4391・4392/4393/4394/4395/4396/4397/4398	
112頁: SW4407~4409	

以降は上記標準施工注意に加えて必要な個別の施工注意です。

99頁 SW4318・4319

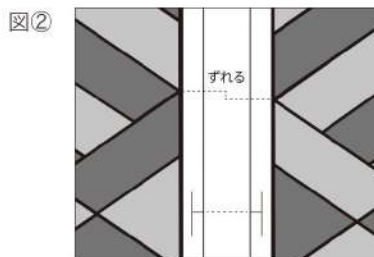
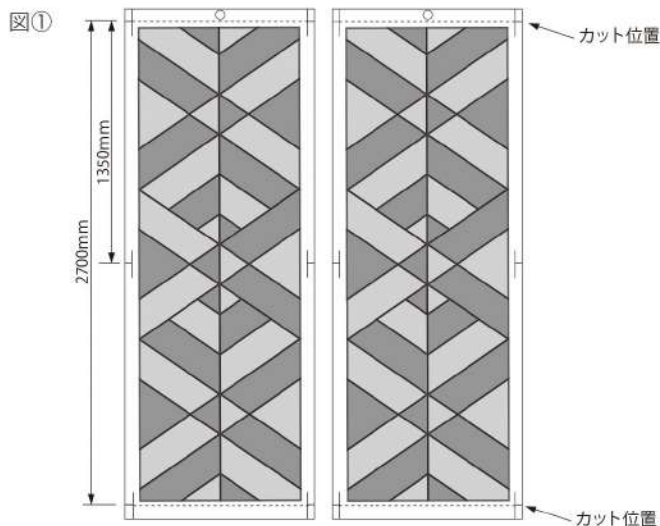
- ・施工時に刷毛を使用するときは表面を強く擦らないでください。素材が剥がれる場合があります。
- ・糊付け機の使用は避けてください。
- ・手貼りのため1枚1枚パターンが異なりますので、完璧な柄合せは出来ません。均一でない味わいがあります。

100頁 SW4320

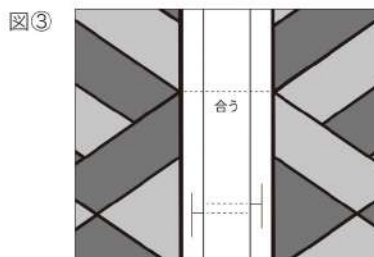
- ・天地の決まりはありませんが、見本帳の施工例写真では生地の上の端の○印が天井側になるよう施工しております。(図①) 反対に施工しても支障はありませんが、生地の配置がかわるのでご注意ください。(張り上がりバリエーション参照)
- ・糊付け機の使用は避けて下さい。
- ・この製品の生地は1点1点手作業で貼っているため、完璧な柄合せは出来ません。(図②) 糊付け前に床に広げ、柄位置の確認を行ってください。
- ・図柄位置を決めたら、製品耳の上下・中央に入っているT字間の距離を測っておき、張り出しの目安にしてください。(図③)
- ・上下についているT字の横線が製品高ですが、天井高や施工する壁に合わせて調整してください。
- ・ジョイントする際は製品耳中央のT字の隙間が1cmほどになるよう重ね、その間を重ね切りするとT字は残らず、綺麗な仕上がりになります。(図④)
- ・施工時に刷毛を使用するときは表面を強く擦らないでください。素材が剥がれる場合があります。施工後に飛び出た糸がある場合、カットしてください。



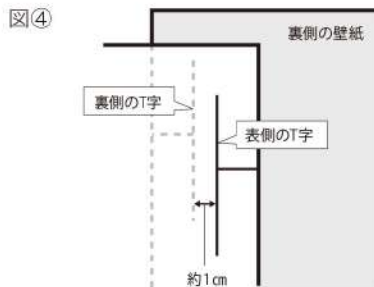
施工動画  
基本施工方法  
はこちらから



T字マークで合せても完璧な柄合せは出来ません。

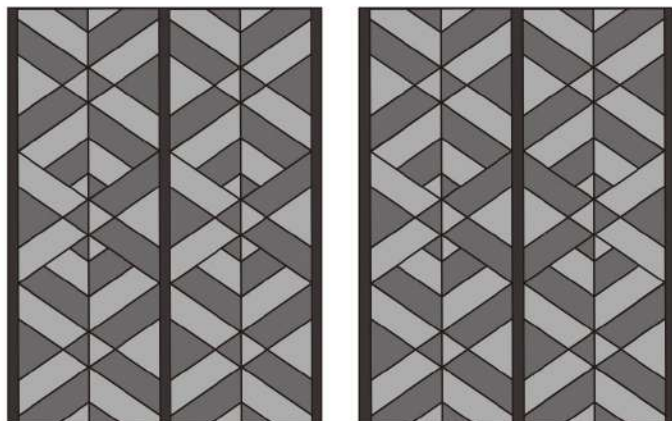


柄位置を決めた後、T字のズレの距離を張り出しの目安にします。



重ねた時のT字の間隔を1cmほどにしてから間を重ね切りしてください。

### 張り上がりバリエーション



〈○を上にして繋げた場合〉  
色の配置がランダムに見え、手加工の不均一さと相性良い仕上がりが。

〈○を上下交互に繋げた場合〉  
中央にひし形が浮び上がり、安定感のあるデザインに。

# 施工上の注意

織物	
104頁	SW4339・4340 ・撫で付けは柔らかい刷毛を使用し、強く擦らないでください。 ・タテ整経商品はヨコ糸が無いことから折りジワが付きやすいため、取り扱いには十分にご注意ください。
105頁	SW4343～4345 ・横段柄のため、柄合せが出来ません。 SW4346～4348 ・カッターの刃は常に鋭利な状態で使用してください。
106頁	SW4349・4350 ・タテ整経商品はヨコ糸が無いことから折りジワが付きやすいため、取り扱いには十分にご注意ください。 ・刷毛を使用する際は表面を強く擦らないでください。素材が剥がれる場合があります。 SW4354～4356 ・横段柄のため、柄合せが出来ません。
107頁	SW4372～4375 ・糊は濃いめに、塗布量は多めにしてください。
108頁	SW4381・4382 ・横段柄のため、柄合せが出来ません。 SW4383～4385 ・撫で付けは柔らかい刷毛を使用し、強く擦らないでください。 ・タテ整経商品はヨコ糸が無いことから折りジワが付きやすいため、取り扱いには十分にご注意ください
109頁	SW4388～4390 ・ジョイントが目立ちやすい商品です。底目地仕上げまたは、クイックジョイナーを使用するときれいに仕上がります。
111頁	SW4399 ・表面に汚れが付着すると、取り除けない場合があります。特に糊汚れは白く目立ちやすいのでご注意ください。 ・強い摩擦や湿気を含むもので擦ると、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。 <b>フリンジあり施工の場合</b> ・フリンジ部分は糊付け機で糊が付きません。 ・フリンジを引っ張ってしまうと壁紙が剥がれやすくなります。裏打ち紙のない部分に接着剤を塗り接着を強化することをおすすめします。 SW4400・4401 ・表面に汚れが付着すると、取り除けない場合があります。特に糊汚れは白く目立ちやすいのでご注意ください。 ・強い摩擦や湿気を含むもので擦ると、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。 ・フリンジ施工を想定した商品ではありません。 ・フリンジ施工した場合、防火性能は認定されません。
112頁	SW4405・4406 ・横段柄のため、柄合せが出来ません。



紙布						
標準施工	<p>■素材の特性上ジョイント部に色差や目曲がりが生じることにより柄が合わないことがあります。水が直接かかる場所への使用は避けてください。</p> <p><b>糊付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糊は濃いめに、塗布量は多めにして相剥ぎを防いでください。</li> <li>・表面に糊が付着しないようご注意ください。</li> <li>・糊付け後は折りジワが付かないように大きなたたみ、重ね置きはしないでください。</li> <li>・オープンタイムは10～15分が目安です。長時間おくと相剥ぎや目スキの原因となります。</li> </ul> <p><b>張付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・撫で付けは柔らかい刷毛を使用してください。金ペラや硬いローラーは使用しないでください。</li> <li>・カッターの刃は15～20°の角度を保ってカットすると、繊維が毛羽立たず比較的きれいに仕上がります。</li> <li>・石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。</li> <li>・施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。</li> </ul> <p>施工終了後、表面に糊が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐにきれいな布で軽く拭き取ってください。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td>112頁</td> <td>SW4402・4403/4404</td> </tr> <tr> <td>113頁</td> <td>SW4410～4412/4413・4414/4415・4416/4417/4418・4419/4420</td> </tr> <tr> <td>114頁</td> <td>SW4421/4422/4423/4424/4425・4426/4427/4428～4430</td> </tr> </table>	112頁	SW4402・4403/4404	113頁	SW4410～4412/4413・4414/4415・4416/4417/4418・4419/4420	114頁
112頁	SW4402・4403/4404					
113頁	SW4410～4412/4413・4414/4415・4416/4417/4418・4419/4420					
114頁	SW4421/4422/4423/4424/4425・4426/4427/4428～4430					